

秩父市 本町・中町まちづくり通信

秩父市中央通線本町・中町まちづくり推進協議会報告

第7号 平成19年11月

発行・編集
秩父市地域整備部 まちづくり課
TEL 0494(25)5217
FAX 0494(25)0137

1. 平成19年度の活動について

平成18年10月から、本町・中町の代表者の皆様、埼玉県、秩父市の協働で、中央通線街路整備事業に併せたまちづくりについて議論するために、「秩父市中央通線本町・中町まちづくり検討委員会・作業部会」を発足し、平成19年7月には「まちづくりへの提言」としてまとまりました。

「まちづくりへの提言」を受け、平成19年9月から「秩父市中央通線本町・中町まちづくり推進協議会、座談会」を組織しました。昨年度から検討を行ってきた、「秩父市中央通線 本町・中町まちづくりへの提言」をもとに、より具体的な検討と実際の取り組みを推進していくため、まちづくり推進協議会とまちづくり座談会を開催します。

「まちづくり座談会」では、本町・中町ごとに地元の皆様に集まっていただき、様々なご意見から、具体的なまちなみ形成のルールなどについて、検討、決定していきます。

「まちづくり推進協議会」では、各町の検討結果について、意見交換や調整を行っていきます。

本町・中町まちづくり推進協議会

【役割】

各座談会で検討した内容について、座談会の代表者が発表し、実際にまちづくりをどのように進めていくかを決定・調整する。

【メンバー構成】

地元町会代表者、埼玉県、秩父市、学識経験者等で組織。

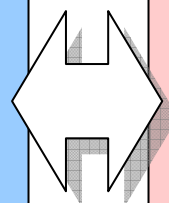
本町及び中町まちづくり座談会

【役割】

中央通を中心としたまちづくり（景観形成基準、賑わい創出方策）などについて検討する。

【メンバー構成】

本町、中町それぞれの町会単位等で、地元の方々を主体とした座談会を組織。
今年度は、本町・中町で別開催とする。



2. 第1回・まちづくり推進協議会が開催されました。(11月14日)

平成19年11月14日(水)午後1時30分から、第1回「秩父市本町・中町まちづくり推進協議会」が開催されました。

同協議会では、地元の代表者の皆様から今まで開催されたまちづくり座談会での検討内容について報告がありました。その後、中心市街地(本町・中町地区)と中央通線の整備について、様々な議論が交わされました。

まちづくり推進協議会の後、実際にまちに出て、建物の前面空間について見てみました。



■第1回 まちづくり推進協議会(平成19年11月14日)

【場所】秩父ふるさと館 2階

【会議内容(抜粋)】

- ①座談会・推進協議会の進め方の確認
 - ・資料(本紙裏面)をもとに、座談会・推進協議会の位置づけ、スケジュールについて確認
- ②各町会座談会での提言書への意見

■各町会座談会での提言書への意見

<本町>

- ・座談会を2回開催した(10月5日、26日)。提言書に基づき、話し合いをした。
- ・歴史的建造物については、ふるさと館、びいどろ美術館以外にも、個人の建物の中にも、歴史的建造物はある。
- ・川越のようにそろえるのではなく、自由度があってもいい。
- ・本町らしい色を使う。
- ・参加されていない人に対する参加の呼びかけ、協議内容の周知が必要である。

<中町>

- ・座談会を2回開催した(10月19日、11月8日)。
- ・街路事業で建替えない建物についても、まちづくりに協力してもらいたい。
- ・出席者が少なく、まとめることが難しいと思っている。
- ・テーマとしては、秩父往還らしい街並みや、お祭りの屋台を意識して、和風が基準になると思う。
- ・専門家ではないので、モデルデザインを作ってくれればという意見もある。
- ・職種が色々あるため、統一するのではなく、自由に任せたいほうがいいという意見もある。
- ・祭りのメイン通りになるため、大正・昭和時代のイメージでいったらいいのではないかとこの意見もある。

■その他の意見・質問

- ・道路整備だけでなく、面的な整備が必要である。
 - (市から)本来のまちづくりは、通りだけでなく面的に考えることは必要である。しかし、今は、道路整備が先行しているため、道路整備の建て替えに併せて、街並み形成のルールを検討している状況である。今後、中心市街地活性化などを合わせて、継続的にまちづくりを進めていきたい。
- ・県道拡幅の補償以外に、市から補助金等が出るのか?
 - (市から)ある程度の水準(規制を含む)までのまちづくりのルールが地元としてまとまり、市の計画として位置づけられれば、市としても積極的に動きたい。
- ・各個人の補償がわからないと、自分達の建物について考えることは難しい。
 - (県から)現在、用地測量が進み、これから、各個人の建物調査に入るところである。

まちづくり推進協議会の後、まちに出てみました。

道路からどのような位置で建物が建っているか見てみました。

店舗の出入り口は植栽などを置くスペース(道路から約1mの空間)がありました。また、自転車の置けるスペース(道路から約2mの空間)もありました。

多くの皆様のお店や家の前も、敷地内に自転車や植木鉢の置くスペースがあり、植木鉢で緑が飾られ、来訪者が立ち止まれるスペースを自然に確保しているようです。



3. 今年度の進め方(第1回本町・中町まちづくり座談会の資料)

まちづくり座談会を中心に、検討を行い、まちづくり推進協議会で調整を進めていきます。
また、本年度は、他地区のまちづくりの経験者による、講演会を予定しております。

第1回 本町・中町まちづくり座談会

■今年度の進め方

- ・ 「秩父市中央通線 本町・中町まちづくりへの提言」をもとに、街並み形成のためのルールとして「景観形成基準」、住民主体のまちづくり活動として「賑わい創出方策」を検討する。
- ・ 今年度は、本町・中町で別開催とする。

STEP 1：景観形成基準

「秩父市中央通線 本町・中町まちづくりへの提言」の街並み形成のためのルールをもとに、具体的なルールとなる景観形成基準を設定

- ①歴史的建造物の取り扱い
- ②沿道の建物高さ
- ③沿道建物の色・素材
- ④建物の配置・形態と軒先の空間の扱い（セットバックなど）
- ⑤屋外広告物
- など



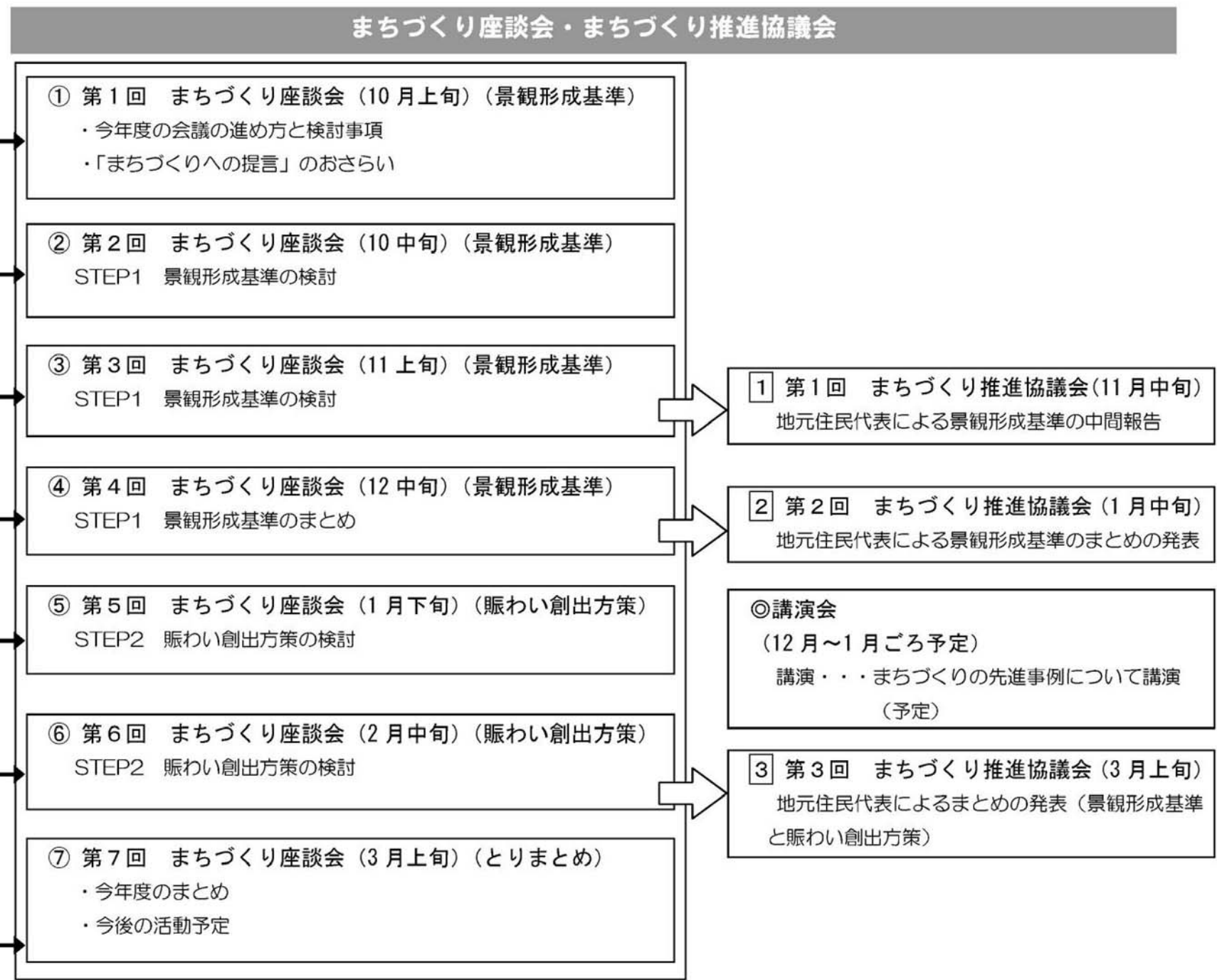
STEP 2：賑わい創出方策

「秩父市中央通線 本町・中町まちづくりへの提言」の住民主体のまちづくり活動をもとに、活性化に向けた活動・イベントの検討



今年度のまとめ

「景観形成基準」＋「賑わい創出方策」



■スケジュール

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月
まちづくり推進協議会		景観形成の中間報告		景観形成の報告		賑わい方策 まちづくり計画
まちづくり座談会	① ②	③	④	⑤	⑥	⑦
講演会 (予定)			◎			

STEP 1 景観形成基準 (10月中旬～12月中旬)
STEP 2 賑わい創出方策 (1月下旬～3月上旬)

【まちづくり座談会】

本町、中町それぞれの町会単位等で、地元の方々を主体とした座談会を組織していただく。
座談会では、中央通を中心としたまちづくり（景観形成基準、賑わい創出方策）などについて、検討する。

【まちづくり推進協議会】

各座談会で検討した内容について、座談会の代表者が発表し、実際にまちづくりをどのように進めていくかを決定・調整する会議。
学識経験者、地元町会代表者、行政等で組織。

まちづくりは地元の皆様が主役です!! まちの活性化を目指し、皆様で検討し、まちづくりを進めていきましょう。